

議案に対する討論(7月6日) 江上博之議員

市民犠牲を二度も押し付ける計画は許せない 名古屋高速道路の新洲崎JCT・黄金IC拡張を計画

7月6日の6月議会最終日に「名古屋都市高速道路整備計画の変更」に同意を求める議案について採決が行われ、江上博之議員が反対討論を行いました。

名古屋駅に自動車呼び込み

この議案は、リニア開通を視野に、自動車を名古屋駅にアクセスしやすくするため、名古屋高速道路公社が新洲崎ジャンクションと黄金インター(中川区)に出入りを増設する計画変更と、財政負担を増額するなどの変更を求めるものです。江上議員の反対討論を紹介します。

市の方針にも反する、時代逆行の計画

江上議員は、「反対の第1の理由は、名古屋都市高速道路の理念に反し、都心域に自動車を流入させる計画だ」と指摘し、「変更は、名古屋駅東西への自動車アクセス強化のためです。『通過交通を都心から排除しよう』という理念から全く逆に都心域に流入させるもので理念そのものを覆すもの」と批判しました。

再度の移転など住民犠牲を押し付け

「第2の理由は、住民の理解と納得を得ていないから」と指摘しました。江上議員は「名古屋高速道路の建設に対して、市民の反対運動をうけ、名古屋市議会、愛知県議会は『住民の理解と納得を得る』ことを含め3条件8項目を求めている」ことを示し、「黄金インターの場合、中川区九重町、百船町は、40年前の都市高建設で154軒が移転を強いられ、今回34軒が強いられます。うち5軒は、再度の移転です。“立ち退くのは嫌だが、どうしてもというなら、移転先、その後の面倒もきちんと見てくれることが条件だ。高齢者の一人暮らしに貸すアパート

はない”、“騒音・振動などに不安、環境対策が必要だ”の声を聞きました。2月10日の都市計画審議会では、計画への意見が53通あり、『住民の理解と納得を得る』ことを委員が求め、審議会会長も『住民の理解と納得をいただけるように丁寧な対応を審議会としても、ぜひお願いしたい』と発言していますが、市の答弁は『引き続き丁寧に説明する』というものです」と経緯を紹介しました。そのうえで、江上議員は「住民の理解と納得は得られていない」と厳しく批判しました。



570億円もの投資はやめよ

さらに、江上議員は「理由の第3は、市民犠牲の事業に570億円もの巨額投資を行うから」と指摘し、計画変更をしないよう求めました。

意見書4件を可決

6月議会には8件の意見書が提出され4件を全会一致で可決。日本共産党提出2件は否決されました。

意見書案に対する各会派の態度 2020年6月29日 議運理事会

| 件名 | 原案 | 各会派の態度 | | | | | 結果 |
|---|----|--------|---|---|---|---|----|
| | | 共 | 自 | 民 | 減 | 公 | |
| 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決に関する意見書(案) | 自 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ |
| 悪質クレーム対策の推進を求める意見書(案) | 民 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ |
| 新型コロナウイルス感染症をめぐる差別の防止を求める意見書(案) | 減 | ○ | ● | ○ | ○ | △ | × |
| 新型コロナウイルス感染症対策における障害者・高齢者福祉の現場への対応の充実を求める意見書(案) | 減 | ● | ● | ● | ○ | ● | × |
| 選択的夫婦別姓制度についての詰論を求める意見書(案) | 公 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ |
| 新型コロナウイルス感染症に対する検査・医療体制の強化を求める意見書(案) | 共 | ○ | ● | ● | ● | ● | × |
| コロナ禍における景気回復のための対策推進に関する意見書(案) | 共 | ○ | ● | ● | ● | ● | × |
| 台湾の世界保健機関年次総会へのオブザーバー参加等の支持に関する意見書(案) | ※ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ |

※請願採択に伴い議運で発議
・結果の◎(ゴシック青字)は可決された意見書。×は一致しなかった意見書。意見書名を修正した場合は修正後の件名を掲載。
・議運理事会での態度です。○=賛成 ●=反対 △=修正。
共:日本共産党 自:自民党 民:名古屋民主 減:減税日本ナゴヤ 公:公明党)

